

洋上風力発電の導入促進に向けた採算性分析のための基礎調査事業

資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギー課風力政策室

令和5年度予算額 **36 億円** (**新規**)

事業の内容

事業目的

洋上風力発電は、大量導入の可能性、コスト低減余地、経済波及効果の大きさの3つの観点から「再生可能エネルギー主力電源化の切り札」と期待されており、2050年カーボンニュートラルの実現に向けては、洋上風力発電の案件形成を促進していくことが重要です。

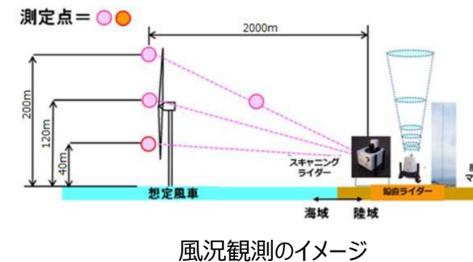
そこで、案件形成の初期段階から政府が主導的に関与する仕組みである「日本版セントラル方式」の一環として、発電事業の採算性分析に必要な情報を得るための調査を実施し、事業者への情報提供を通じて、洋上風力発電の案件形成の加速化を目指します。

事業概要

洋上風力発電事業の実施可能性が見込まれる海域を対象として、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（JOGMEC）が洋上風力発電事業の採算を分析するために必要な基礎調査を実施します。具体的には、洋上風力発電設備の基本設計に必要な風況・海底地盤に関する調査データを取得するために、各種の観測機器を用いたサイト調査を実施します。

調査で得られたデータは、調査対象海域で洋上風力発電事業を計画する事業者へ提供することで、事業者による発電事業計画の策定を支援します。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



成果目標

令和5年度からの事業であり、毎年度3箇所程度の区域で調査を実施し、令和22（2040）年に3,000～4,500万kWの洋上風力発電の案件形成を目指します。